

## あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議次第

日時：平成29年7月18日（火）

午後1時から

場所：愛知県庁本庁舎正庁（6階）

### 1 開 会

### 2 議 事

- (1) 平成28年度事業報告及び収支決算について
- (2) あいちトリエンナーレ2019 芸術監督の選任について

### 3 その他

### 4 閉 会

#### <配布資料>

資料1 議事1 平成28年度事業報告書及び財務諸表

資料2 議事2 あいちトリエンナーレ2019 芸術監督の選任について

## 議事 2

### あいちトリエンナーレ 2019 芸術監督の選任について

#### 1 芸術監督として推薦する者

<p>つだ だいすけ 津田 大介 (43 歳)</p>		<p>(*) ジャーナリスト／メディア・アクティビスト</p>
-------------------------------------	---	-------------------------------------

#### ◆略歴

1973 年生まれ。東京都出身。

インターネットメディア「ポリタス」編集長。一般社団法人インターネットユーザー協会 (MIAU) 代表理事。早稲田大学文学学術院教授。

早稲田大学社会科学部卒業。同大学在学中より IT 関連のライターとして執筆活動を、2003 年からはジャーナリスト活動を開始。

メディア、ジャーナリズム、IT・ネットサービス、コンテンツビジネス、著作権問題などを専門分野に執筆活動を行う。ソーシャルメディアを利用した新しいジャーナリズムをさまざまな形で実践。「ナタリー」をはじめとする、複数のオンラインメディアの立ち上げに携わる。

第 17 回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門新人賞受賞 (2013 年)。第 19 回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門審査委員会推薦作品選出 (2015 年)。

主な著書に『ウェブで政治を動かす!』(朝日新聞出版)、『動員の革命』(中央公論新社) ほか。近著は『「ポスト真実」の時代』(日比嘉高との共著・祥伝社)。

(\*)「新しいメディアを活用して、人々の情報発信を手伝う人物」(津田氏による説明)

#### 2 推薦理由

○津田氏は、日々の取材を通じて、社会問題に関する情報を発信し続けており、世界が大きく変動する時代において、社会情勢を踏まえた、明確なコンセプトを打ち出すことができる、新しいタイプの芸術監督像を期待できる。

○津田氏は、現代という時代を捉えており、テーマ性の高いコンセプトを打ち出し、エッジの効いたワクワク感のあるものを創り上げ、それを国内外にアピールすることができる。

○津田氏は、バランス感覚に優れ、また、情報を整理する能力にも長けていることから、いろいろなアイデアや意見を取り込んで、トリエンナーレを創り上げることができる。

## 【参考】

## 芸術監督選考委員会について

学識経験者7名（下記参照）から構成される「あいちトリエンナーレ芸術監督選考委員会」を設置し、2回の議論を経て、芸術監督の選考を行った。

平成29年5月1日 第1回芸術監督選考委員会

同 6月4日 第2回芸術監督選考委員会

〈選考委員〉

（五十音順）

五十嵐 太郎	東北大学大学院教授
加須屋 明子	京都市立芸術大学教授
建 昌 哲 （委員長）	多摩美術大学学長
中井 康之	国立国際美術館学芸課長
藤 川 哲	山口大学教授
水野 みか子	名古屋市立大学教授
港 千 尋	多摩美術大学教授

## 選考条件の概要

- 「愛知芸術文化センターの美術と舞台芸術の複合機能を活かした新しい国際芸術祭のスタイルを世界に発信すること」など、あいちトリエンナーレの基本構想を実現することができること。
- 同時代性を踏まえ、現代美術の国際展を基軸としつつ、「現代美術と舞台芸術の複合的な展開」、「まちなか展開」、「県内での広域展開」、「創作プログラムなどの普及・教育事業」、「地元との連携の深化」など、「愛知の独自性」を踏まえながら、世界に向けてアピールし、多くの方々に親しまれるトリエンナーレを創り上げることができること。
- 実行委員会の学芸スタッフ、会場となる街や地元の芸術系大学・団体等の関係者と連携してトリエンナーレを創り上げることができること。